

## 使用上の注意改訂のお知らせ

選択的セロトニン再取り込み阻害剤

セルトラリン錠 25mg 「日医工」

セルトラリン錠 50mg 「日医工」

セルトラリン錠 100mg 「日医工」

塩酸セルトラリン錠

製造販売元 日医工株式会社

富山市総曲輪1丁目6番21

この度、上記製品につきまして「使用上の注意」の一部を改訂（下線部分）いたしましたので、お知らせ申し上げます。

なお、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでには若干の日数が必要ですので、今後のご使用に際しましては下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂内容> (.....: 自主改訂)

新			旧		
<b>【使用上の注意】</b> <b>3. 相互作用</b> 本剤は肝代謝酵素 CYP2C19、CYP2C9、CYP2B6 及び CYP3A4 等で代謝される。 <b>(1) 併用禁忌(併用しないこと)</b>			<b>【使用上の注意】</b> <b>3. 相互作用</b> 本剤は肝代謝酵素 CYP2C19、CYP2C9、CYP2B6 及び CYP3A4 等で代謝される。 <b>(1) 併用禁忌(併用しないこと)</b>		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MAO 阻害剤 セレギリン塩酸塩（エフピー） <u>ラサギリンメシル酸塩(アジレクト)</u>	発汗、不穏、全身痙攣、異常高熱、昏睡等の症状があらわれることがある。なお、MAO 阻害剤の投与を受けた患者に本剤を投与する場合、また本剤投与後に MAO 阻害剤を投与する場合には、14 日間以上の間隔をおくこと。	セロトニンの分解が阻害され、脳内セロトニン濃度が高まると考えられる。	MAO 阻害剤 セレギリン塩酸塩（エフピー）	発汗、不穏、全身痙攣、異常高熱、昏睡等の症状があらわれることがある。なお、MAO 阻害剤の投与を受けた患者に本剤を投与する場合、また本剤投与後に MAO 阻害剤を投与する場合には、14 日間以上の間隔をおくこと。	セロトニンの分解が阻害され、脳内セロトニン濃度が高まると考えられる。
(略)			(略)		

<改訂理由>

・ラサギリンメシル酸塩製剤の使用上の注意においてセルトラリン製剤との併用に関し、併用禁忌と記載されていることから、本剤についても同様にラサギリンメシル酸塩製剤との併用に関し、併用禁忌とする使用上の注意の改訂を行うこととしました。

今回の【使用上の注意】の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品安全対策情報 No.281」(2019年7月発行)に掲載の予定です。

また、改訂後の添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<http://www.pmda.go.jp/>) ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」 (<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/>) に掲載いたします。